

ACTIVITY REPORT

未来をともに創る

就任から2年の感謝を込めて

市民の皆さんには日々まちづくりにご協力いただきありがとうございます。
様々な課題がある中で、市政運営を進められているのも市民の皆さんのおかげです。
今回は、この1年の主な取り組み内容についてご報告させていただきます。

約束をカタチに
この1年の主な取り組み

01 | 子育て・教育

- 天気を気にせず遊べる居場所を、まちのまん中に
(R9年春 開業予定)

イオンモール内に、遊び、学び、交流できる施設を整備。

- 子どもたちの居場所づくり | こども誰でも通園制度、フリースクール利用者補助、こども食堂支援、学童クラブの増員増設、市内2校でアフタースクール（居場所＋塾・習いごと）のモデル導入、支援学級等での指導員・支援員増員
- 駅前から保育園へ。送迎保育ステーション | 千葉ニュータウン中央駅近くでお子さんを預かり、保育園までバスで送迎。子育てと仕事の両立を支える新しい選択肢へ



送迎保育ステーション

- 小中学校体育館へ空調導入
| R10年度末に全校設置予定
- 最先端のデジタル教育
| ロボット×パラスポーツ
を使って学ぶロボッチャ®
を全27校で導入

02 | 産業・交流

- 起業しやすいまちへ

女性向け起業スクール、専門家の個別相談・セミナー開催、木下地区での空き店舗マッチング支援などを実施



女性向け起業スクール

- 最先端企業誘致に向けた産業用地の創出
- 公園や広場をより使いやすく | 手持ち花火の解禁、マルシェなどのイベント開催要件緩和



農業イベントにて

- 地域のつながりを支援
| 農業関連事業者のマルシェ・イベント出店などを支援
- 自然豊かな地域への移住定住促進
| 専門チームを立ち上げ



印西市長 藤代けんご

03 | 安全・安心・健康福祉

- 地域の孤立を防ぐ、買い物支援

公民連携で移動式スーパーを新たに運行

- 地域の見守り活動を支援
| 民生委員・児童委員の活動費増額
- 医療的ケアを必要とする方々へ
しもの備えを支援
| ポータブル電源を給付対象に
- 地震後の火災リスクを減らす | 感震ブレーカー購入を助成



移動式スーパー

04 | まちづくり・生活環境

- 駅周辺等での産業と調和したまちづくり | 地区計画によるD C立地のゾーニング明確化
- 木下駅前にぎわい広場や牧の原公園での公民連携による施設整備（Park-PFIなど） | 企業サウンディングの実施
- 印西牧の原駅圏での複合施設整備 | 市民ワークショップや企業サウンディングの実施
- 暮らしの水に安心を | 水道未整備地域の浄水器補助の拡充

05 | 市役所改革

- 外部専門人材の登用 | DXアドバイザー、デザイン戦略担当、人材育成担当
- 多様な人材の採用 | 社会人経験者枠新設（筆記試験を廃止）、年齢上限引き上げ
- 研修の充実 | マネジメント向け伴走型研修、オンライン研修の導入、職員自主勉強会を支援

世界モデルのまちへ

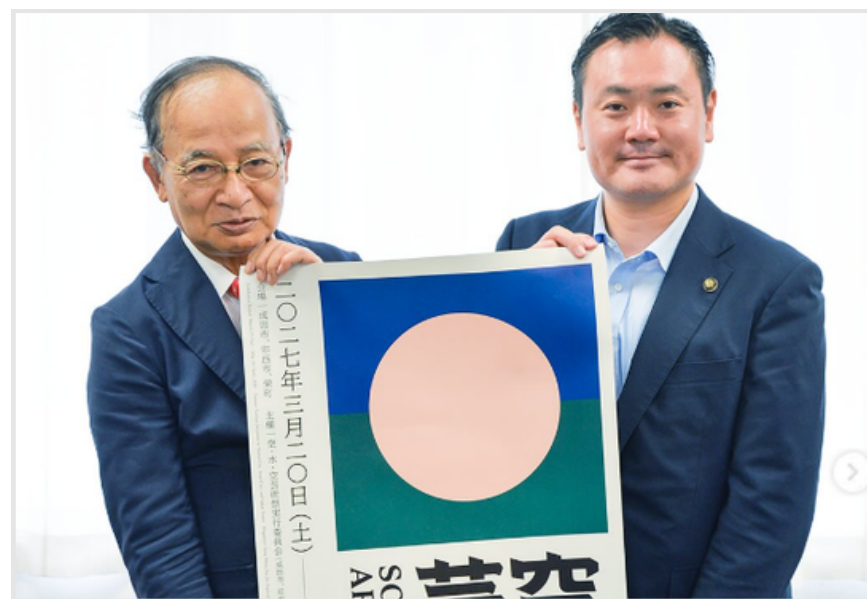


01 新たなまちづくりへ | 産官学との連携を推進



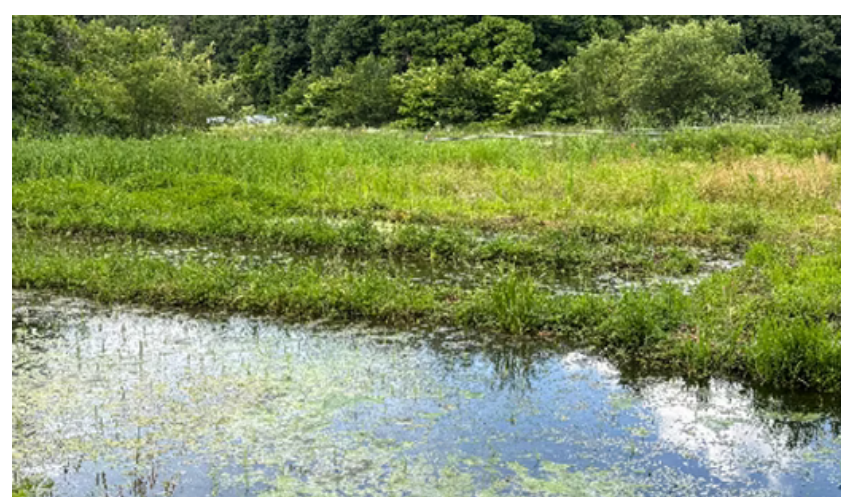
新たな協定締結先
・イオンモール(株)
・東京ガス(株)
・国立環境研究所
・北総ライノス
・JR東日本グリーン
ウォリアーズ東葛

02 印西初の国際芸術祭 (R9年3～5月) | 空・水・空芸術祭開催



成田市・栄町・千葉県と連
携して開催。自然や景観、
歴史・文化などの地域資源
と「現代アート」の融合を
通じ、新たな交流の創出を
目指します

03 全国初 | ランドスケープ・マネジメ ント・センター (LMC) 設立



自然環境を地域の防災、まち
づくり、脱炭素、生物多様性
保全に活かす産学官民連携プ
ラットフォームを、全国に先
駆けて設立。グリーンインフ
ラの取組みを進めます

04 広域連携 | 地域を超えた連携の推進



- ・白井市との包括連携協定
締結
- ・千葉うみさとライン協議会
に参加 (東京湾と印旛沼を
つなぐ官民連携PJ)
- ・成田国際空港(株)との勉強会
開催

まちの未来を描く

市制施行30年を迎え、次の30年に向けたビジョン創りを進めています

▶ 新たな **コンセプトロゴ** を決定

▶ 教育総合会議 | **教育ビジョン** の策定

▶ 第二次基本計画 | **まちの経営ビジョン** の策定

すぐ
隣り。
べんり
の
みどり
と

コンセプトロゴ

経営ビジョン

「緑育職住」近接の、未来都市。

里山・都市・人がゆるやかにつながる、
健やかな未来の暮らしへ。

印西市経営ビジョン

市の取り組みを積極的に発信していきます。



YouTubeでの発信



広報いんざい全戸配布を開始



マニフェストのロードマップ公開中

藤代 けんご | 経歴

1984年、印西市山田生まれ、A型。瀬戸幼稚園、六合小学校、印旛中学校、佐倉高校、早稲田大学 政治経済学部卒。国際協力銀行、ボストン・コンサルティング・グループ、青山社中執行役員を経て、地元印西でまちづくり会社を創業。2024年 7月 印西市長就任 (1期目)。



YouTube



X



Instagram



Facebook

皆さまとともに、次の一步へ。

藤代けんご後援会

討議資料